

第三学年 国語科学習指導案

日時 平成二十九年十月二十三日(月)

場所 池田町立池田中学校(三年五組教室)

学級 三年五組(男子十七名・女子二十一名 計三十七名)

授業者 渡邊 彩乃

一 単元名「論旨を捉えて」 教材名「作られた『物語』を超えて」

二 単元および教材について

本単元では、人間社会における「作られた物語」を超えた先について考えるという言語活動を設定した。私たちは多くの誤解に基づいた「作られた物語」の中で生活している。例えば、韓国人はみんなキムチが大好きだ、ブラジル人はみんなサッカーがうまいなどである。さらに近年では、SNSの急速な発展により誰もが容易に情報を発信できる時代である。ボタン一つで様々な情報を検索することができてしまう一方、誤った情報を鵜呑みにすることにより大きな失敗をしてしまうこともある。この時代をよりよく生きていくためには、正しい情報を見極めることが必要不可欠である。本教材は、「物語」というキーワードを軸に、ゴリラの事例から、人間の文化や社会全体の事例に発展させ、最後に自らの主張へと論を展開させている。筆者の考えを表す語句や論理展開に着目させ、客観的な視点を持つて物事を捉えるということが大切だという主張を捉え、さらに多様な読みへと思考を深めていける文章である。誤った情報を伝えてしまうことがあるという人間の特性を理解し、誤った情報による「作られた物語」が身近にも溢れていることに気づかせたい。その上で、その物語を超えた先を考えさせていきたい。そのためにも、筆者の主張・意見・仮説がどこに書かれているのかを確かめることや、段落相互の関わり、ゴリラの事例が書かれている意図などについて理解を深めさせていきたい。

三 生徒の実態

本学級では、説明的文章の読解を課題としている。九月に行われた実力テストの結果を分析すると、漢字の理解に関わる問題の正答率は七〇・六%であるのに対して、説明的文章の読解における項目は、二九・二%であった。さらに細かく分析を進めると接続語に関する理解に関わる問題、段落構成に関わる理解についての問題では、七割近い正答率であることに對して、書かれている内容を把握する問題の正答率が二七%、五・四%と大幅に低いことがわかった。これは、接続語や段落構成など説明的文章を読み解くための一つ一つの技能は身につけているものの、その技能を内容把握に活用できないということが考えられる。本教材を読み解くにあたっては、接続詞や段落構成に着目することが内容把握に役立つということを実感できるように、手立てを講じていくこととした。

四 「生きてはたらく言語能力」の育成について

中学校学習指導要領解説 「読むこと」(中) 第三学年 より

◎イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。

【文章の解釈】

「生きてはたらく言語能力」を具体化する — 「読むこと」言語能力一覧表—より

(イ) 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

五 研究とのかかわり 読むこと（説明的文章）部会研究テーマより

言語活動を通して、主体的・目的的に読む能力の育成
 ↓構成や論理展開の意図や効果に着目し、説明的文章を正確に読み解くための指導の工夫↓

【言語活動の特徴と付けたい力との関連】

本教材は、全五時間である。指導事項は「読むこと イ」を重点とし、説明的文章を正確に読み解くための方法を再確認する。そのために本時では、ゴリラにおける誤解に基づいた「物語」とはどんな内容で、真実はどのような内容なのかを対比させながら明らかにしていく。その上で「なぜゴリラの例が必要だったのか」と、問うことでゴリラにおける誤解に基づいた悲劇が、人間社会にも当てはまるという筆者の主張に気づかせたい。

六 単元指導計画（全四時間）

○筆者の主張と事例の関わりについて知り、筆者の主張に対して自分なりの考えを広げることができる。

【国語への関心・意欲・態度】

◎筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて評価することができる。

【読むこと イ】

○筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつことができる。

【読むこと エ】

【単元の評価規準】

・筆者の論の進め方の工夫について興味関心をもち、筆者の主張と言葉の使い方について自分なりに考えている。

【国語への関心・意欲・態度】

・筆者の考えを表す語句の意味を踏まえ、ゴリラの事例とその後の論理展開について、自分の考えをもっている。

【読むこと イ】

・筆者のものの見方や考え方を踏まえて、「物語」の超え方や「新しい世界」について自分の考えをもっている。

【読むこと エ】

時	ねらい（◎中心となる主発問）	評価規準・評価方法
1	<p>本単元で学習する内容を確かめ、身近にある「作られた物語（誤解）」について知り、自分の感想をもつことができる。</p> <p>◎筆者の主張を読み取ろう。</p>	<p>文章のおおまかな内容を読み取り感想をもつことができる。</p> <p>（国語への関心・意欲・態度）</p>
2	<p>「作られた「物語」という言葉を軸に本文を読むことを通して、「作られた「物語」は人間の性質が作り出したものであるということに気付き、筆者の主張をまとめることができる。</p> <p>◎筆者の主張する「作られた「物語」とはどのようなことなのか。</p>	<p>筆者の主張を「物語を作りたがる人間の性質」という言葉を使ってまとめることができる。</p> <p>（読むこと イ）</p>
3（本時）	<p>本文中でゴリラの「作られた『物語』がどんな役割を果たしているか考えることを通して、ゴリラの例が筆者の主張に説得力をもたせるのに適した例であることに気付き、本論が筆者の主張を説得力のあるものにするため、工夫が凝らされていると知ることができる。</p> <p>◎筆者の主張に対して、ゴリラの例がどんな意味をもっているか。</p>	<p>本論の具体例が、筆者の主張を説明するのに適した例であることに気付ける。</p> <p>（読むこと イ）</p>
4	<p>筆者の述べる「物語」を作りたがるという人間の性質」について具体例を挙げながら、自分の考えを書くことができる。</p> <p>◎私たちは人間の性質が作り出した「物語」とどう向き合っていくべきだろうか。</p>	<p>筆者のものの見方や考え方を踏まえて、「物語」の超え方や「新しい世界」について自分の考えをもつことができる。</p> <p>（ノート記述）（読むこと エ）</p>

七 本時のねらい
本文中でゴリラの「作られた『物語』」がどんな役割を果たしているか考えることを通して、ゴリラの例が筆者の主張に説得力をもたせるのに適した例であることに気付く、本論が筆者の主張を説得力のあるものにするため、工夫が凝らされていると知ることが出来る。

八 本時の展開 (3/4)

	学習活動	指導・援助
導入	<p>◇ 単元の課題(筆者の主張に対して、具体的な事例を示しながら考えを書く)を確かめる。筆者の主張を確認する。</p> <p>筆者の主張… 私たち人間がもっている性質を理解したうえで、自分を相手の立場に置き換えて考えてみる視点を持ち、作られた「物語」を超えて真実を知ろうとしてほしい。</p> <p>筆者の主張に対して、ゴリラの例がどんな意味をもっているのか。</p> <p>◇ ゴリラの事例についてまとめる。 「ゴリラの「作られた『物語』」とはなんだろう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・ 凶暴で好戦的な恐ろしい動物である</p> <p>・ ドラミングは戦いの宣言である</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>↓群れで平和に生活している ↓呼びかけ、不満や挑発である。 ゴリラにとっての「言葉」</p> </div> <p>◇ ゴリラの「作られた『物語』」は、本論中にどんな意味をもっているか考えをまとめる。</p> <p>印象をもとにイメージをつくる</p> <p>ゴリラ…探検家の印象、凶暴で好戦的</p> <p>誇張する</p> <p>ゴリラ…キングコング ⇄ 人間…うわさ話</p> <p>「物語」をつくる</p> <p>ゴリラ…好戦的で凶暴な動物だ</p> <p>← 悲劇をうむ</p> <p>ゴリラ…殺される ⇄ 人間…紛争が起きる</p> <p>・ ゴリラに起きた悲劇は、人間社会でも言語や文化の違う民族との間に起きるということを説明している。</p> <p>・ 人間の「自分の立場からしかものごとを見ていない」という性質から「物語」ができることを分かりやすく示している。</p> <p>・ 人間の性質についてゴリラの例を取り上げることでも分かりやすくしている。</p>	<p>・ 単元を貫く課題を板書し確かめることで、本時の役割を明確にする。</p> <p>・ 前時を振り返り、筆者の主張を確認することで、本論と主張とを繋げて考える意識をもたせる。</p> <p>・ 本時の課題と単元の課題とを線で結ぶことで、本時の位置づけを確認する。</p> <p>・ ゴリラの例は何かと問うことで、生徒につぶやかせ、ゴリラの事例がどこに書かれているかはつきりさせる。</p> <p>・ 考えをもてない生徒に対する手立て</p> <p>① ゴリラの作られた物語と真実を、分けて書けるように机間指導する。</p> <p>② キーワードが空欄になったカードを使い、考えをもてるようににする。</p> <p>・ 前時のノートを見返し、既習事項を想起させる。</p> <p>・ 四人の小グループワークを仕組み、「人間の性質」というキーワードを使って、ゴリラの例がどんな意味をもっているかを考えさせる。</p> <p>・ 活動が進まないグループには人間の性質とゴリラの悲劇との関連に目を向けさせる。</p>
展開	<p>◇ ゴリラの事例は人間が印象をもとにイメージをつくり、それを誇張する人間の性質について具体的に書かれている。言葉や文化が違う人間同士の間には、生じるかもしれない誤解や悲劇を分かりやすく示す具体例である。</p> <p>相手の立場に自分を置き換えて考えれば、真実が分かるという主張に繋がり分かりやすい。</p>	<p>【評価規準】</p> <p>・ 本論の具体例が、筆者の主張を説明するのに適した例であることに気付ける。</p> <p>(読むこと イ)</p>
終末		